

いきいき茨城ゆめ国体2019



市を挙げておもてなし 国体剣道競技

9月29日から3日間の日程で行われた剣道競技には、全国から選手・役員、一般観覧者など延べ約2万人が来場しました。

競技では、茨城県代表の選手たちが激闘を制して、大会初となる4部門完全優勝を勝ち取りました。

また、会場の下館総合体育館、練習会場となった市内の中学校・高校、選手やサポーターを出迎えた鉄道駅などでは、130人のボランティアスタッフで運営をサポート。テント村での「おふるまい」とあわせて、来場者を心から「おもてなし」しました。

10月1日の閉会式では、大会会長の須藤茂市長が「熱気や闘志あふれる戦いは、感動と勇気を与えてくれた。すばらしい時間を共有できたことに感謝します」と選手をたたえ、「大会の記憶と共に筑西の良き思い出を持ち帰ってもらいたい」とあいさつ。次回の剣道競技開催市である鹿児島県霧島市へバトンが引き継がれました。



いきいき茨城ゆめ国体2019

馬術優勝

なかしまゆうすけ
中島悠介選手(乗馬クラブエトワール)



馬術成年男子国体総合馬術で本市出身の中島悠介さん(乗馬クラブエトワール)が初優勝しました。「地元での優勝を目指していたので、うれしいです。恩師や馬術連盟、チームの応援、支えてくれた妻、優勝を信じてくれた娘のおかげです。この競技を6連覇した師匠の記録を超えるよう今後も精進し続けます」と中島さん。



ちっくタッグによる「モロフライ」と「キングポーク豚汁」のおもてなし。こちらも来場者に大好評でした。



NPO法人梨想の会が特産品の梨でおもてなし。みずみずしく甘い梨は大好評でした。



Tシャツやタオルなど品揃え豊富なオフィシャルグッズ販売テント。完売した商品が続出しました。



市内の小・中学生が47都道府県の応援のぼりを作り、選手たちを歓迎しました。

総合開会式でダンスを披露

国体の総合開会式(ひたちなか市)で、ダンスコンテストの入賞チームによる「いきいきゆめダンス2019」が行われ、本市からも「花嫁募集中!」、「Amuse(下館二高)」、「筑子保育園さくら組」の3チームが、ダンスを披露しました。



45年ぶりの再会



前回の茨城国体剣道競技「高校の部」で準優勝した下館一高OB川田さんと松本さんが、剣道競技の期間中、かつて決勝戦を戦った鹿児島商工高OB牛濱さんと東さんに再会しました。現在、牛濱さんは鹿児島県剣道チームの総監督、東さんは愛知県剣道チームのスーパーアドバイザーとして活躍しています。

写真の右から…松本正人さん(下館一高・中堅)、牛濱求さん(鹿児島商工高・中堅)、東良美さん(鹿児島商工高・大将)、川田淳さん(下館一高・先鋒)

三笠宮瑠子さまがご来訪

剣道競技をご覧になる瑠子さま

しもだて美術館では、板谷波山の作品などをご覧になりました。

10月1日、三笠宮瑠子さまが剣道競技をご観戦になるため筑西市にお越しになりました。

また、瑠子さまは、しもだて美術館を訪問され、柏木登館長の案内で、開催中の「筑西の至宝美の巨匠展」をご覧になりました。